諮問における「4つのポイント」と実際の事業の対応

このたび、知事から北海道立総合博物館協議会に協議をお願いいたしました諮問につきまして、前回協議会におきまして、事務局より進め方についてご説明いたしました。この際、協議・検討いただくに当たっての「ポイント」として「今後、博物館が進める(取り組む)べき方向性」を4つに整理したところです(資料4)。

その協議会の議論の中で、これら4つの「ポイント」と、現にこれまで博物館が取り組んできた事業との関連性を示してほしい(そのことによって、「このポイントにとっては、この事業項目が重要だ」といった課題や方針が見えやすくなる)とのご意見をいただきましたことを踏まえ、4つの「ポイント」を、今年度までの第2期の事業項目(それぞれの実際の事業・取組)との対応を示したものが、この資料です。

諮問における「4つのポイント」を、北海道博物館の事業と結びつけてイメージするための参考資料とお考えください。

※表では、北海道博物館の事業・取組を、もっとも関連性が高いと考えられる「ポイント」に当てはめていますが、その事業・取組が別の「ポイント」にも関連することもありえると思います。そうした点もご質問・ご指摘いただければ有り難く思います。

※事業内容ごとに分けた四角の見だしは、第2期中期目標・計画における「事業項目」とその番号です。(なお、第2期中期目標・計画の全文は『北海道博物館要覧』に掲載しています)

- 現状(やっていること)
- 主な課題(協議会からの指摘等)

ポイント1「基本的機能の充実」 【新たな時代・社会の情勢に向けた検討だからこそ、博物館としての基本的機能・基本的なあり方について検討していただきます】	
1 資料の収集・保存 ○資料の収集→整理・登録 ○収蔵資料データベースにより、情報を管理 ○収蔵庫の温湿度管理、防虫・防カビに努める ○資料の貸出・熟覧、資料画像の掲載・利用に対応	2 展示 ○総合展示室(5つのテーマで北海道の自然・歴史・文化を紹介する常設展示)を運営 ○定期的にコーナーを入替え(クローズアップ展示) ○特別展・企画テーマ展・蔵出し展を実施
3 調査研究 ○道費による調査・研究 ○外部資金(日本学術振興会の科学研究費(科研費))などによる調査・研究 ●コロナ禍の後、海外機関との研究交流を再開	5 教育普及事業 ○行事・イベントの実施 ○学校団体向けのレクチャー・プログラムの実施 ○はっけん広場(体験学習室)の運営、イベント実施 ●ICTを利用した教育普及事業は不十分
13 人材育成機能の強化と社会貢献 ○講演・寄稿依頼等に対応(専門的な知見の提供)	14 研究成果の発信 ○研究紀要の刊行 ○学会での発表、学術雑誌への投稿 ●学芸員の数に対して、研究成果の発表数が少ない
15 アイヌ民族文化研究センターの事業 ○アイヌ文化に関わる調査研究とその成果の普及 ●資料の公開に向けた進捗が遅い	

ポイント2「求められる役割」

【新たな社会の動きのなかでの、北海道立総合博物館に求められる役割(果たすべき責務)について検討していただきます】

2 展示 ○解説の一部を多言語化(パネル、音声解説器) ○スマートフォンアプリ(「ポケット学芸員」)での解説	12 情報発信 ○資料情報・画像や当館刊行物等の情報をウェブサイトで公開 ○図書室の運営 ○レファレンス(専門的な質問)に対応
8 広報 ○公式 YouTube チャンネルの活用 ○X(旧Twitter)の活用 ○他機関との連携による広報活動の強化	

ポイント3「地域との信頼関係構築」

【広くは北海道・道民、狭くは近隣のエリアといった、より身近な地域について、関係を意識した「あり方」について検討していただきます】

6 ミュージアムエデュケーター機能の強化 ○博物館利用方法を紹介する教員向け研修会 ○「おうちミュージアム」(学校での学習をサポートするコンテンツのポータルサイト)の開発・公開	7 施設及び周辺環境の整備 ○施設の活用 ●森林公園を含めたエリア全体の一体的な活用 ●バリアフリーに向けた中長期的な計画
10 道民参加の推進 ○道民と協働する展示(北海道化石会との協働による「アンモナイトと生きる」など) ○「古文書サークル」 ○図書室での活動(図書室支援員) ●制度としては、未構築	11 博物館ネットワーク ○国内の博物館ネットワーク(日本博物館協会等)の北海道の幹事館(事務局) ○道内の博物館ネットワーク(北海道博物館協会)の事務局
13 人材育成機能の強化と社会貢献 ○博物館実習生やインターンシップなどの受入れ ○外部機関の事業に対し、協力・後援	15 アイヌ民族文化研究センターの事業 ○アイヌ文化に関する学術情報の集約と発信 ○自治体・機関からの専門的な質問に対応

ポイント4「運営基盤強化」

【ポイント1～3で協議していただく「あり方」を目指すための、博物館の運営基盤の強化について検討していただきます】

4 北海道開拓の村の整備 ○歴史的建造物の改修工事(建設部による)→内部展示の改訂	7 施設及び周辺環境の整備 ○館内施設の整備と活用 ○周辺環境の整備
9 評価制度の活用と利用者ニーズの把握 ○利用者調査(アンケート) ○博物館協議会の実施 ○年度計画に対する実績の自己評価と外部点検 ●評点と、その理由・記載事項が不一致に見える ●計画が未達成の場合にどうするか	13 人材育成機能の強化と社会貢献 ○学芸職員を博物館学系の研修に派遣